

謹賀新年  
2021



領内小学校



大杉小学校

領内・大杉谷だより 令和3年(2021年) 1月号

## 領内小学校・地域の歴史

領内地域総合センター2階に資料室があり、そこには卒業生によるトロフィーや学校行事、地域の写真などが展示されています。今回はその中からいくつか紹介したいと思います。



卒業制作



校旗



領内橋  
(年代不明)



運動会の様子(昭和23年)

今後も少しずつ紹介していきますので、楽しみに！！  
※大杉谷地域総合センターにも資料室があります。実際にご覧になりたい方はぜひお越しください。

# 大杉谷自然学校だより

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

当校では昨年12月4日に大台町教育委員会の受託事業で「ツキノワグマとの付き合い方」と題して、四日市大学の橋本幸彦准教授を講師にお招きし、勉強会を開きましたので今回はその内容を紹介します。

大台町でのクマの目撃情報は、昨年7月から増えています。エサ不足だけが理由ではありません。クマは春から夏には葉や茎、ハチなどの昆虫類、キイチゴなどの果実類を食べており、ドングリなどの堅果類を主食にするのは秋です。ドングリは昨年不作だと言われていましたが、夏からの出沒の理由にはなりません。実は全国で目撃や被害が多発した原因だと考えられているのは、2年前のドングリの豊作で子どもがたくさん生まれ、親離れしたばかりの亜成獣（性成熟前のクマ）が増加していることが挙げられています。この亜成獣は、好奇心旺盛で怖いもの知らずのため目撃情報が増えたと考えられています。他にも、山に人が入らず、警戒心の低下なども原因として考えられています。

対策として、クマに出会わないようにすること、そしてクマに人が使う場所を教えることです。

①出合いがしらの事故防止⇒クマ鈴などで存在を知らせる（クマは高い金属音を嫌う）、日の出、日没前後はなるべく出歩かない（クマの一番の活動時間。秋は日中も活動が増える）

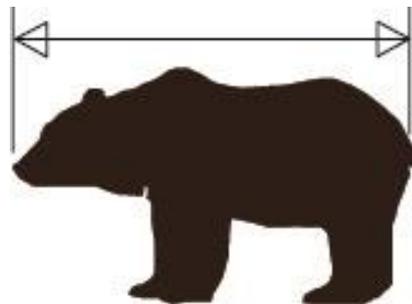
②山と里の違いを覚えさせる⇒人間の食糧の味を覚えさせないよう、柿や栗など実ったものを放置することや、野生動物が口にできるような場所へゴミを放置することはやめましょう。また、クマは学習能力が高い生き物です。里や人間が怖いということを知る警鐘の設置などの対策もあります。（尾瀬の事例では、捕獲後、ちょっとお仕置きをしてから放獣するという様なこともしているそうです）

それでも、もし出会ってしまった時は、クマから視線を反らし、そっと後退りて木などの物陰にいったん身を隠し、動きを止めてから急いで逃げるといいそうです。また、クマスプレーは有効とのことで、自然学校でもクマを失明させる程の威力がないものを選んで野外の活動では常備しています。

大台町は人と自然が共生するユネスコエコパークの町ですから、野生動物との遭遇は仕方のないことかもしれません。クマの事故に遭わないようにするためには、私たち人間が対策をする必要があります。ツキノワグマは12月下旬に冬眠し、4～5月に目覚めます。今年の動向は分かりませんが、これからも自然と人が共生する道を探し続けたいと思います。

※ツキノワグマは日本各地にたくさん生息していますが、紀伊半島のツキノワグマは、他の生息域と完全に分断されていて、[絶滅の恐れがある地域個体群]に指定されている保護獣です。

体重平均 メス 50 kg、オス 80 kg  
体 長 100~130 cm  
行動範囲 約 100 km<sup>2</sup>



6～8月頃に交尾をしますが、メスはその時点では妊娠せず、秋にドングリをしっかり食べ、十分な脂肪を蓄えた年だけ着床し、冬ごもり中に子どもを産みます。

NPO法人  
大杉谷自然学校

三重県・大台町

〒519-2633 大台町久豆199

☎:0598-78-8888

ファックス:0598-78-8889



## ヒートショックにご注意！

一段と寒さが増す季節になってきました。

「ヒートショック」という言葉を聞いたことはありますか？

ヒートショックとは、急激な温度変化により身体が受ける影響のことで、例えば、暖かい部屋から、浴室などの冷たく寒い場所へ移動した際、急に血圧が上がったりして、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こすおそれがあることを言います。

特に冬場は住宅内の温度差が大きくなり、高血圧や動脈硬化の傾向がある人、なかでも高齢者は注意が必要と言われています。寒暖差の激しい場所へ移動するときは上着を着るなどして急激な温度変化に注意しましょう。



紀勢地区広域消防組合 奥伊勢消防署宮川出張所  
☎0598-77-2552

### 領内地区人口の動き

(令和2年11月末現在)

男性	245人
女性	272人
計	517人
世帯数	268世帯

### 大杉地区人口の動き

(令和2年11月末現在)

男性	85人
女性	122人
計	207人
世帯数	120世帯

### あともがき

明けましておめでとうございます。昨年12月に寒波が到来してから、寒い日が続いておりますが、皆様は良いお正月を過ごせたでしょうか。

12月16日には降雪があり、屋根や車が白くなっていました。まだまだ寒さがつづき、降雪や凍結も増えてくると思います。この地域では家の前が坂や階段になっている家も多く、転倒の恐れがありますので、上り下りに気をつけていただきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染が未だ増加傾向にあり、季節的にインフルエンザも注意が必要です。三密（密閉・密集・密接）を避け、マスクの着用、手洗いや消毒など、感染症対策を引き続き行っていただきますよう、ご協力お願いいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

領内出張所 橋本